

佳作

ぼくのまま、ありがとう

ぼくは、ママがすきです。まいにち、おいしいごはんをつくってくれたり、きれいにうちのなかをそうじをしてくれたりして、ぼくがきもちよくすめるようにがんばってくれています。

ぼくのままは、びょういんでおじいちゃんやおばあちゃんのおせわをするおしごとをしています。このおしごとは、とてもちからがあるしごとなので、とてもつかれるそうです。だからぼくは、ときどきおふろで、せなかやかたを、まつさーじしてあげます。ママはとてもよろこんでくれて、ひやくえんくれます。なつやすみのあるひぼくはママとほーむせんたーへかいものにいきました。ママはいりぐちにあるおはなをみていました。そのときぼくはママへのかんしゃのきもちをこめて、もらったおかねでおはなをあげたいとおもいました。

滋賀県

東近江市立五個荘小学校一年

古田 千尋

ぼくはかぶとむしをみにいってくるといってママとはなれました。ママにはないしょでかってママをびつくりさせようとおもったからです。ぼくはれじへいきました。ぼけつとのなかのおかねをぜんぶだして、おみせのひとに、このおかねでかえるはなはありませんかとききました。すると、おみせのひとは、ぼくをなかのおはなのところにつれてってくれました。でもこれはいいですとおみせのひとにいいました。で、おみせのひとはそのおはなをみせてくれました。きれいなおはながあったので、かうのをきめてれじへいききました。おみせのひとは、おはなをきれいなかみにつんでくれました。

ぼくはママにそのおはなを、いつもありがとうといつて、あげました。

もうすぐ8がつもおわりますが、あげたおはなはげんきにさいています。